



増田 道子

ますだ・みちこ

分子制御レーザー開発研究センター
事務支援員



平成20年7月より、レーザーセンターでお世話になっております。旅行会社に勤務後、昨年はワーホリ生活をカフェで働きながら悠々閑々と送っておりました。分子研で役立つ前歴は、時刻表調べとコーヒー入れ……、あとはスマイル? ぐらいで、社会経験の浅い新人です。こちらには優秀な方は素より、このような私を支えて下さるご親切な方が多く、仕事のみならずメンタル面でも感化されております。早く成長し、皆様のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

王 路

WANG, LU

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 IMSフェロー



I was born in Anhui Province, China. I received my Ph. D at Department of Physics, Peking University in July, 2008. I joined Professor Nagase's group as a postdoctoral fellow on Aug 1, 2008. My main research interests are on the density functional study of electronic and structural properties of nano-materials, covering the areas of optical, dielectric, magnetic, and vibrational properties of them. It is very challenging and exciting for me to start my research at IMS.

武井 宣幸

たけい・のぶゆき

光分子科学研究領域
光分子科学第二研究部門 助教



東京大学で博士課程終了後、科学技術振興機構のCREST研究員およびERATO研究員を経て、平成20年9月に大森グループの助教として着任しました。専門は量子光学で、量子テレポーテーションやCavity QEDなど量子情報処理について基礎的な研究を行ってきました。今後は、これまで培った技術を活かし、極低温分子のコヒーレント制御を目指したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

嘉治 寿彦

かじ・としひこ

分子スケールナノサイエンスセンター
ナノ分子科学研究部門 助教



東京大学大学院理学系研究科で学位取得後、東北大学金属材料研究所での研究員を経て、平成20年9月に平本グループの助教に着任しました。これまで、有機半導体の単結晶や薄膜を作製し、その電子状態や構造を調べたりトランジスタとして動作させたりしてきました。今後は、有機太陽電池について、原理と効率との両面を睨んで研究に励みます。

皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

Bhim P. Kafle

光分子科学研究領域
光分子科学第三研究部門 研究員

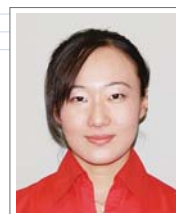


I received my PhD degree recently in the physical science from Graduate University for Advanced Studies, Japan. In my PhD, I have experimentally investigated the photoionization and dissociation dynamics of fullerenes, in the supervision of prof. Mitsuke. This is my 4th year to stay in IMS. From the last September, I have been mainly focused on designing and setting up of photoelectron-photoion-coincidence spectrometer to be utilized for investigating the dissociation channels and energy partitioning in the relatively large carbon clusters such as C₄F₈ and fullerenes after single photon excitation.

唯 美津木

ただ・みづき

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 准教授



東京大学大学院理学系研究科博士課程中退後、同大学院理学系研究科にて助手、准教授を経て、平成20年10月1日より現職に着任致しました。金属錯体の表面固定化に基づく高活性固体触媒表面と反応場の合理的設計と、放射光を用いた時空間分解XAFS法による触媒表面の動的解析を研究の機軸とし、新しい触媒設計や触媒反応概念を開拓する研究を展開していきたいと考えております。

よろしくお願い申し上げます。

田中 雅人

たなか・まさと

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一部門 IMS フェロー



広島大学大学院理学研究科博士課程後期を修了した後、ウ
ルム大学での博士研究員を経て、平成20年10月からIMSフェ
ローとして永瀬教授のグループでお世話になっております。
分子研という恵まれた研究環境で頑張りたいと思います。
よろしく申し上げます。

炭竈 享司

すみかま・たかし

理論・計算分子科学研究領域
計算分子科学研究部門 研究員



10月から分子研の斉藤研究室に異動してきました炭竈享
司です。これまでは名古屋大学理学研究科で学位取得、その
後GCOE研究員として勤務し、イオン透過について研究し
ていました。斉藤研究室ではイオン水溶液の結晶化とその過
程における赤外分光について研究しております。
どうぞよろしく申し上げます。

臼井 千夏

うすい・ちか

物質分子科学研究領域
電子構造研究部門 技術支援員



約4年間分子研を離れていましたが、2008年10月より
電子構造部門の西グループにて（今回は）技術支援員として、
まずは金属アセチリドの合成から炭素ナノ構造体への作製及
び分析等のお手伝いをさせて頂いています。日々試薬とフラ
スコそしてカーボンに触れながら、電極材料として優れた高
性能炭素材料作製に微力ながら努力したいと思っています。
よろしく願いいたします。

三宅 敏子

みやけ・としこ

理論・計算分子科学研究領域
理論分子科学第一研究部門 IMS フェロー



広島大学理学研究科化学専攻で学位を取得した後、ベルリ
ン・フンボルト大学に博士研究員として滞在しました。11
月から、永瀬グループに所属させて頂くこととなりました。
永瀬グループでは、国際的な雰囲気の中で多岐に渡る研究
が行われております。
自分は、凝集系、生体系内で起こる化学反応の反応機構
の解明をテーマに、研究を進めていきたいと思っています。
よろしく願いいたします。